

# 平成21年度高鍋町事務事業評価表

## ◎事務事業の概要

事務事業名	くらしのアドバイザー事業				開始年度	不明	
基本目標	安全なまちづくり				終了年度	なし	
担当課(局)	総務課	担当係	生活安全係	記入者	日高 茂利	評価者	間 省二
20年度決算	45	千円	21年度予算	45	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
20年度人件費	359 千円		21年度人件費	364 千円		事業従事者数	0.05 人 0.05 人

## ◎事務事業の目的・内容

事業の目的	消費者の知識の習得や問題意識の高揚を図り、消費者の自立を支援するとともに消費者被害の防止と解決支援をする。
事業の内容	消費者相談での助言、消費者啓発活動の実施(くらしのアドバイザーだよりの発行)、消費生活に関する情報の収集・提供。

## ◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 消費者相談件数	広報啓発活動により被害相談件数が減少する
	2	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 啓発活動数	「アドバイザーだよりの発行
	2 情報提供・助言件数	消費者情報の提供、消費生活に関する助言
	3	

## ◎達成状況

指標名		単位	19年度	20年度	21年度
成果指標	消費者相談件数	目標値	10	5	5
		実績値	9	6	
		達成率	90.0%	120.0%	
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
0	目標値				
	実績値				
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標	啓発活動数	目標値	3	3	3
		実績値	1	2	
		達成率	33.3%	66.7%	
	情報提供・助言件数	目標値	20	25	30
		実績値	23	25	
		達成率	115.0%	100.0%	
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!

## ◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	「くらしのアドバイザー」は、平成18年度から各市町村の判断による配置に変更されているが、悪質商法による被害や生活用製品の事故等が増加傾向にある中で、これまで蓄積されたアドバイザーとしての経験や知識を有効活用することが望ましいと判断し事業を継続している。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	消費者被害の防止・救済については、成果が抽象的であり有効性の指標設定が困難であるが、行政よりも身近な生活者の立場で活動しており、有効性は高い。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	主に行政とは独立して日常的に地域で活動されており、コスト削減は難しい。
協働性	◎町民との協働の可能性があるか(ボランティア・NPO等)	くらしのアドバイザーがそれぞれの地域で住民と協働している。

事務事業名	くらしのアドバイザー事業	担当課(局)	総務課
-------	--------------	--------	-----

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	悪質商法などの犯罪行為が多様化複雑化し増加する中で重要な事業と考える。今後の消費者庁の創設等消費者保護行政の進展を視野に入れ、引き続き取り組んでいきたい。	今後の方向性				
			拡充				
			現状維持			○	
			縮小				
			廃止				
			廃止	縮小	現状維持	拡充	
			コスト				

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎くらしのアドバイザー事業のみではなく、消費者行政事業としての評価を行ってはどうか。
	コスト	現状維持	